

来月の消費予報

**例年以上に消費意欲の冷え込みが激しく、
調査開始以来の最低値を記録。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

2月の消費意欲指数は41.5点で、前月比-9.7pt、前年同月比-1.7pt。前月比大幅ダウンで過去最低値を記録しました。

2月の消費意欲指数



↓ 前月比 -9.7 ポイント

↓ 前年同月比 -1.7 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意欲



★ UP : 前年同月比で 20 人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で 20 人以上減少

「来月(2月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

2月のポイント

Point 1 : 不要不急の出費を控える意識がさらに強まり、過去最低値を更新

2月は年末年始の出費の反動と大きなイベントがない月のため、1年の中でも消費意欲指数の落ち込みが大きい月ですが、年々その傾向が強まっています。2015年以降、毎年前年同月割れを続けており(15年2月44.3点→16年2月43.3点→17年2月41.5点)、前年は2012年4月の調査開始以来の最低値を記録。今年はさらにそれを1.7ポイント下回って、過去最低値を更新しました。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ても、「欲しいものがない、意欲がない」が14年から毎年増加しており(14年2月440件→15年2月498件→16年2月500件→17年2月523件)、この時期、欲しいものが思いつかないという生活者の意識が強まっている印象です。

Point 2 : 年末年始以外の月における消費意欲の低減傾向が続いている

前述の通り、2017年2月は過去最低値となりましたが、2016年の消費意欲指数を振り返っても、12ヶ月中8ヶ月で前年同月を下回っています。特に2月(43.3点)、3月(45.9点)、7月(49.6点)、8月(49.5点)、11月(46.8点)の5回は、その月の過去最低値を記録しました。

また、消費意欲指数が50点を上回った月の回数は、2013年が5回(1月:55.4点、3月:50.3点、7月:51.3点、8月:53.3点、12月:55.5点)、2014年が4回(1月:50.8点、3月:53.8点、8月:51.6点、12月:56.7点)、2015年が3回(7月:50.5点、8月:50.3点、12月:55.4点)、2016年が2回(1月:50.8点、12月:56.1点)と、年々減少し続けています。

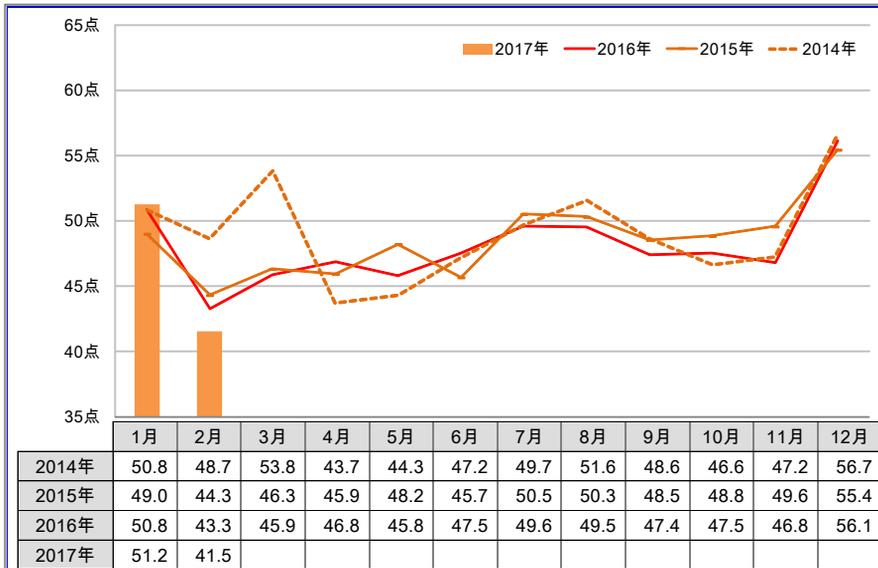
2017年1月を含め、年末年始の消費意欲指数は安定して高いものの、それ以外の月については低減する傾向が続いていることがうかがえます。

消費意欲指数

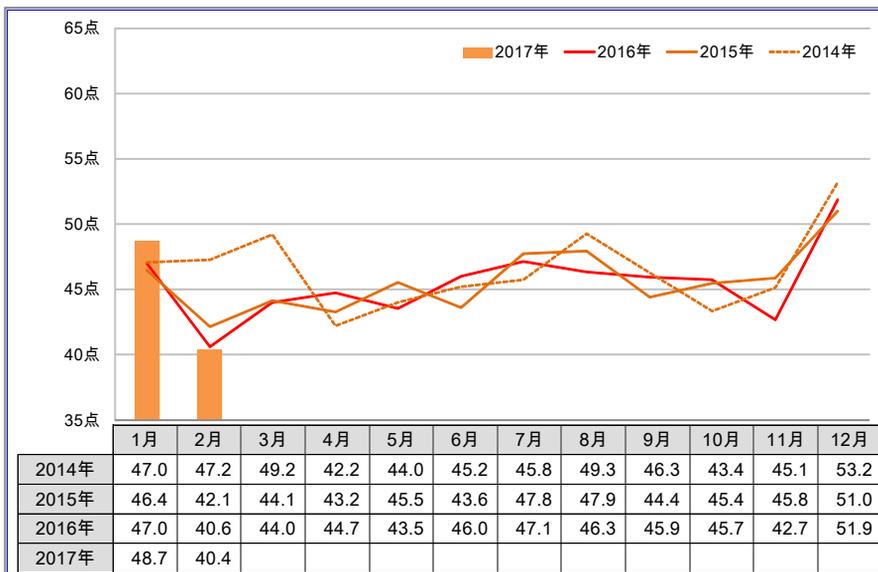
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

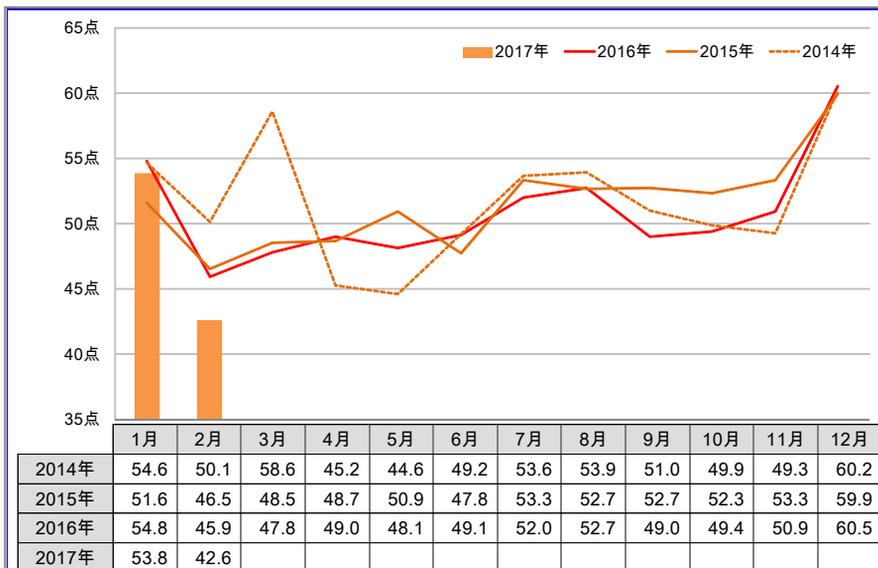
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【欲しいものがない、意欲がない】

- ・特に欲しいものがない。冬は寒くて外出も億劫なので、散財する機会も少ない(10点・男性27歳・神奈川県)
- ・特に大きなイベントがないから(20点・男性38歳・愛知県)
- ・消費しなければならぬ理由が見つからないから(20点・男性42歳・愛知県)
- ・特に欲しいものがなく、いつも購入している消耗品を中心に購入する予定だから(25点・男性56歳・埼玉県)
- ・特に消費意欲が刺激されるようなことが予想されない(10点・男性68歳・兵庫県)
- ・買いたいものは年始に買ったから(10点・女性29歳・愛知県)
- ・年末年始は帰省の準備等で物入りだったが、2月は大きなイベントもないため(40点・女性32歳・埼玉県)
- ・これといって現在欲しいものがないし、無駄遣いしたくない(40点・女性44歳・岐阜県)
- ・今のところ取り立てて欲しいものがなく自分の年齢も考えて浪費せず、いざというときの為に以前より購買意欲がなくなっているから(50点・女性55歳・兵庫県)
- ・日々の食料・消耗品以外に欲しいものがない(15点・女性66歳・埼玉県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(2月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年2月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	21.8	-9.5	-1.1
男性	18.9	-9.2	-0.9
女性	24.7	-9.8	-1.2

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(327人)

順位	カテゴリー	2月(人数)	前年同月比
1	ファッション	157	-16
2	食品	135	+4
3	外食	109	-18
4	旅行	104	-11
5	飲料	78	-8
6	書籍・エンタメ	77	-11
7	家電・AV	73	-2
8	化粧品	64	-12
9	レジャー	62	-9
10	理美容	61	-11
11	日用品	51	-16
12	パソコン・タブレット・周辺機器	50	+4
13	装飾品	48	-23
14	インテリア用品	46	-13
15	スマートフォン・携帯電話	38	+1
16	車・バイク	25	-3

参考:男性(143人)

順位	カテゴリー	2月(人数)	前年同月比
1	ファッション	54	-4
2	食品	49	+4
3	書籍・エンタメ	47	+3
4	家電・AV	46	+3
5	外食	44	-8
6	飲料	43	+8
6	旅行	43	-12
8	パソコン・タブレット・周辺機器	37	+4
9	レジャー	32	-3
10	スマートフォン・携帯電話	26	+4
11	車・バイク	23	+3
12	装飾品	18	-16
12	インテリア用品	18	-2
14	日用品	13	-6
15	理美容	11	-14
16	化粧品	7	-3

参考:女性(184人)

順位	カテゴリー	2月(人数)	前年同月比
1	ファッション	103	-12
2	食品	86	0
3	外食	65	-10
4	旅行	61	+1
5	化粧品	57	-9
6	理美容	50	+3
7	日用品	38	-10
8	飲料	35	-16
9	装飾品	30	-7
9	書籍・エンタメ	30	-14
9	レジャー	30	-6
12	インテリア用品	28	-11
13	家電・AV	27	-5
14	パソコン・タブレット・周辺機器	13	0
15	スマートフォン・携帯電話	12	-3
16	車・バイク	2	-6

<全体にのみ下記基準で色付け>

オレンジ:前年同月比で20人以上増加

青:前年同月比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値。

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(2月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(2月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年1月5日(木)～10日(火)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-02/>)からダウンロードしていただけます